

1 事業計画

日本政府観光局（JNTO）によると、令和5年の訪日外国人観光客数は、2,506万6千人（令和元年比78.6%）となり、コロナ前と比較し、8割程度まで回復が進みました。一方、観光庁の宿泊旅行統計調査における都道府県別では、愛知県の延べ宿泊者数は1,850万2千人（令和元年比95.7%）で、そのうち、外国人は198万4千人（令和元年比54.6%）となり、当地域におけるインバウンド需要は、十分な回復に至っていない状況にあります。こうした中、当地域においては、本年のジブリパークの全エリア開業や、今後予定されるラグジュアリーホテルの開業、令和8年アジア・アジアパラ競技大会の開催等、観光需要の高まる機会を捉えた、観光・MICE誘致の強化が重要です。

このような状況をふまえ、令和6年度の事業計画では、名古屋の強みを活かした観光・MICEの推進とインバウンド誘致の強化を始めとする4つの重点項目と、グローバルMICEの推進等の5つを主な事業として掲げました。

計画した事業については、観光・MICE産業をとりまく環境の変化を的確に捉え、賛助会員を始めとするステークホルダーの皆さまと協力しながら、効果的な事業執行により、名古屋地域の観光・MICE振興により経済波及効果の拡大を図って参ります。

合わせて、令和6年度から5年間を計画期間とする次期経営戦略計画を、市が策定する次の観光MICE戦略と協調して策定し、名古屋市とビューローが一体となって観光・MICEを推進してまいります。

▼ 重点項目

- 1 名古屋の強みを活かしたMICEの推進とインバウンド誘致の強化
- 2 新たな観光コンテンツ等の創出と観光ブランディングの推進
- 3 観光DXの推進とおもてなしの向上
- 4 次期経営戦略計画の策定

▼ 主な事業

1 グローバルMICEの推進

- (1) 展示会を活用した産学連携促進事業の実施
- (2) MICEコンテンツのニーズ調査及び開発
- (3) 国内会議開催助成の創設

2 国内外への効果的な情報発信

- (1) 観光デジタルマップの管理・運営
- (2) ウェブサイトやSNSによる旬な観光情報の発信強化
- (3) インバウンド向け情報発信の強化
- (4) 観光資源としての「なごやめし」を活用した名古屋の魅力の発信
- (5) Wellnestyle NAGOYA（ウェルネススタイルなごや）の推進
- (6) フィルムコミッション事業の推進

3 観光事業者と連携した誘客促進事業の実施

- (1) 名古屋の特色を活かした観光PRと誘客事業の実施
- (2) 教育旅行誘致活動の推進

4 戦略的なインバウンド誘致プロモーション

- (1) アジアからのインバウンド誘致プロモーションの強化
- (2) 教育旅行の誘致推進（台湾、韓国等）

5 国内外からの来訪者へのおもてなし

- (1) 観光案内所のおもてなし強化（案内・接遇の向上）
- (2) 観光ボランティア活動の推進
- (3) 観光客の受入基盤の充実

公益目的事業の実施

I コンベンション事業

【 現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考) 】

国際会議開催件数

(単位：件)

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度
目 標	218	233	248	253
実 績	9	0	21	未発表

1 独自の誘致活動

(1) MICE 関係団体等からの情報収集とセールス活動

ア コンベンション主催者関係者からの情報収集とセールス活動

地元の大学や研究機関、首都圏のコンベンション主催関係者・開催キーパーソンなどから、コンベンションの誘致・開催情報を収集するとともに個別の相談に対応するなど信頼関係を構築し、誘致活動を推進します。

- (ア) 国際会議開催意向調査の実施
- (イ) 地元大学・研究機関等へのコンタクト
- (ウ) 首都圏のコンベンション主催関係者へのコンタクト

イ インセンティブ旅行を取扱う国内外の旅行会社からの情報収集とセールス活動

地元及び首都圏などの旅行会社や海外企業等のインセンティブ旅行企画に関する情報を収集し、インセンティブ旅行の誘致活動を推進します。

ウ 見本市・展示会主催関係者からの情報収集とセールス活動

地元及び首都圏などの見本市・展示会を主催する企業や団体から情報収集を行うとともに、信頼関係を構築し、当地域にふさわしいコンベンションと展示会・見本市を融合させた新規案件の誘致活動を推進します。

エ リサーチャーを活用した情報収集

新規のコンベンション案件やキーパーソンに関する情報収集による誘致力の強化を図ります。

オ MICE 主催関係者の視察受入れ

誘致対象となる MICE 主催者等が視察を希望する場合に、会場となる施設やホテル、観光施設等の視察を支援するとともに、名古屋ならではの観光魅力を PR し、誘致活動を強力に進めます。

カ MICE 関係団体への加盟

各団体へ加盟し、MICE 関係者との関係構築を図るとともに、誘致対象となる MICE 開催情報の収集・活用により、誘致活動につなげます。

団体名	JNTO（日本政府観光局）
概要	海外における観光宣伝、外国人観光旅客に対する観光案内その他外国人観光旅客の来訪の促進に必要な業務を効率的に行うことにより、国際観光の振興を図ることを目的とした団体（加入者数 296 団体）
目的	MICE 関係情報の収集、海外商談会への参加等

団体名	JCCB（日本コンGRESS・コンベンションビューロー）
概要	国際コンベンションの誘致促進及びコンベンション従事者の人材育成等に関する事業を行い、コンベンションの振興のための施策を確立し、これを積極的に推進することにより、我が国全体のコンベンションの振興に寄与することを目的とした団体（加入者数 125 団体）
目的	コンベンション関係情報の収集及び、専門部会や人材育成セミナーへの参加等

団体名	ICCA（International Congress and Convention Association）
概要	国際会議の振興を目的にコンベンション関連機関や専門家が設立した団体（加入者数 100 カ国 1,100 団体）
目的	誘致対象の候補となるコンベンション関係情報の収集及び分析

団体名	日本展示会協会
概要	展示会の開催を通して日本経済の発展に貢献することを目的として主催者、展示会場、支援企業の三者で構成される日本最大級の展示会業界団体（加入者数 303 団体）
目的	展示会業界の情報収集及び、ネットワーキング、セミナー参加等

団 体 名	SITE (Society for Incentive Travel Excellence)
概 要	インセンティブ旅行に特化した唯一の国際団体。会員のみがアクセス可能なデータベースを有する。(加入者数 90 カ国 2,650 名)
目 的	インセンティブ旅行業界の情報収集及び、ネットワーキング、セミナー参加等

(2) 展示会を活用した産学連携促進事業の実施

異なる性質を持つ、国際会議等のコンベンションと見本市・展示会の融合によるイノベーション創出の機会拡大と、名古屋ならではの新たなビジネスイベントの開催を目指し、産学連携を促進します。

(3) MICE コンテンツのニーズ調査及び開発

他都市との差別化を図るため、MICE 開催に求められる体験コンテンツのニーズを調査し、名古屋ならではの新規コンテンツを開発するとともに、国内外のミーティング・インセンティブ市場を対象に誘致活動を推進します。

(4) 中部コンベンション連絡協議会の開催

コンベンション推進組織による団体（加盟 16 団体）の事務局として、定期的に協議会を開催し、中部地区における公益的なコンベンションの誘致・開催に連携して取り組みます。

2 連携による誘致活動

(1) MICE 部会の運営

専門部会「MICE 部会」（会員 52 団体）を運営し、MICE ステークホルダーである会員企業との連携し、MICE 推進体制の強化と誘致活動を推進します。

(2) 地元大学関係者とのネットワーク強化

名古屋大学をはじめ市内大学との連携・協力により、国際会議開催の支援施策を大学関係者へ周知し、ユニークバニユアや観光情報等の名古屋での MICE 開催魅力を PR するとともに、MICE 開催を促進します。各ステークホルダーと連携し、ネットワークを強化します。

(3) 愛知・名古屋 MICE 推進協議会の事業推進

愛知県、名古屋市、地元経済界などと共同で立ち上げた「愛知・名古屋 MICE 推進協議会」において、MICE 見本市への出展や首都圏での「MICE 説明会」の開催等の事業を実施し、MICE 誘致・開催を推進します。

ア 海外マーケティングの推進

アフターコロナにおいて、高まる MICE 誘致競争に打ち勝つため、「IT&CM Asia (タイ・バンコク)」や、現地開催のセミナー・商談会 (JNTO 主催) へ出展する等、アジア地域と北米を対象にした誘致活動を推進します。

イ 首都圏における誘致プロモーション事業

学会、業界団体、インセンティブ関係業界等と愛知・名古屋の MICE ステークホルダーによる商談会を中心とした「愛知・名古屋 MICE 説明会」の開催や、国内最大規模の MICE 見本市「国際 MICE エキスポ (IME2025)」(JCCB と JNTO の共催) へ出展する等、誘致プロモーションを実施します。

ウ 東京との都市間連携による誘致事業

東京都及び (公財) 東京観光財団と愛知・名古屋 MICE 推進協議会との連携協定において、海外のミーティングプランナー等を対象に、海外企業からのニーズが高い複数都市をめぐるファムトリップを実施し、誘致活動を推進します。

エ MICE 開催におけるアトラクション等の支援メニューの充実等

大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、レセプションの開催支援やギフトアウェイの提供等を行います。また、企業会議 (M) や報奨・研修旅行 (I) を対象にした、企業と自治体のマッチング事業に参画します。

(4) MICE 人材の育成

当地域における MICE 関連業界で活躍する人材の育成を目的に、就職や今後のキャリア形成を検討している大学生等を対象に、MICE 人材育成セミナーを開催します。

3 開催支援

円滑な MICE 開催に向けた事前準備の相談、独自の支援メニューによる主催者の負担軽減や、名古屋ならではのおもてなしメニュー等により MICE 開催を支援します。

(1) 開催助成金の交付及び開催準備資金の貸付

助成金制度	概要 (趣旨・要件等)
国際会議開催助成金	市内で開催される一定規模以上の国際会議に対して開催助成金を交付
ユニークベニュー利用促進助成金	市内で開催される一定規模以上の会議、企業ミーティング・インセンティブ旅行に対して、ユニークベニューの利用を支援する助成金を交付
見本市・展示会開催助成金	ポートメッセなごやで開催される一定規模以上の見本市などに対して開催助成金を交付

コンベンション開催準備資金貸付	市内で開催される一定規模以上のコンベンションに対して、3年前から開催準備資金を無利子で貸与
-----------------	-----------------------------------------------

(2) 国内会議開催助成の創設

理学・工学系学会をはじめとした国内会議の開催に係る助成制度を創設します。(令和6年度受け、令和7年度に開催される国内会議へ助成)

(3) コンベンション開催時における支援

項 目	内 容
コンベンションボランティア なごやの派遣	名古屋市内で開催のコンベンションの運営を支援するため、ボランティアを派遣します。
コンベンションコンシェルジュ デスクの設置	名古屋市内で開催の一定規模以上の国際コンベンションに対して、参加者への観光・交通案内などを行うコンシェルジュデスクを設置します。
観光通訳ガイドの派遣	国際会議のエクスカージョンのバスツアーに観光通訳ガイドを派遣し、海外参加者に観光案内を行います。
観光案内パンフレット等の提供	観光案内パンフレットや観光文化施設優待割引券を作成し、コンベンション参加者に提供します。

(4) MICE 施設指定管理者としての運營業務への参画

当財団がコンソーシアムによる指定管理者として運營業務に参画している名古屋国際会議場（平成26年4月から）とポートメッセなごや（令和4年4月から）において、MICEの誘致及び開催支援を行います。

II 観光事業

【 現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考) 】

ウェブサイト総ページビュー数

(単位：万件)

区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	1,718	2,002	2,286	2,570
実 績	323	673	1,318	1,485(2月末)

1 観光資源の宣伝

名古屋の観光及び MICE に関する最新の情報や財団の活動状況等を国内外に積極的に発信し、戦略的な情報発信を進めます。

(1) 観光デジタルマップの管理・運営

AI による利用者個人の興味や関心に合わせた訪問候補地の提案機能を搭載した観光デジタルマップの管理運営を行い、利用者・観光客の利便性向上及び周遊促進を図ります。

ア 観光デジタルマップ

観光デジタルマップは名古屋市公式観光サイト「名古屋コンシェルジュ」内に掲載し、サイトとのコンテンツ連携を図るほか、7 言語（日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、ベトナム語）に対応します。また、デジタルマップの利用促進のため機能強化を実施するとともに、利用者の利用状況を把握し・データ分析により、観光誘客施策に活用します。

イ 簡易版紙マップ

デジタルマップを補完するため、掲載内容を限定した簡易版の紙マップを作成します。
[規格] サイズ：A3 両面カラー、言語：5 言語（日・英・中（簡・繁）韓）

(2) ウェブサイトや SNS による旬な観光情報の発信強化

名古屋市公式観光サイト「名古屋コンシェルジュ」（7 言語：日本語、英語、繁体字、簡体字、韓国語、タイ語、ベトナム語）では、「名古屋の今」がわかる季節毎の特集やコラム記事を魅力的な写真や、名古屋観光特使“ぴよりん”を活用した情報発信、注目の情報をランキング形式で紹介する等、名古屋の観光やイベント、MICE 情報を発信します。

また、ウェブサイトと連動し Facebook や X（旧 Twitter）、Instagram の SNS の活用、セールス活動やプロモーション事業における、マーケティング分析ツールとして活用するとともに、観光デジタルマップとの連動制を高めながら幅広く運用します。

(3) 外部ウェブサイト等を活用したインバウンド向け情報発信の強化

2025 年関西万博や 2026 年アジア・アジアパラ競技大会等へ向け、海外プロモーションを展開してきたアジアに加え、新たに欧米豪に向けて、外部ウェブサイト等を活用した情報発信を強化し、観光地としての名古屋の魅力を動画や記事で発信し、認知度向上による誘客強化を図ります。

(4) なごやめしの普及促進

「なごやめし普及促進協議会」の事務局を運営し、国内外に対して観光資源としてのなごやめしの普及促進を図り、当地域への観光客誘致につなげます。

- ア ウェブサイト用コンテンツを活用したなごやめしプロモーション事業
- イ フードダイバーシティ啓発事業
- ウ イベント等を活用した PR 事業
- エ なごやめし宣伝大使等を活用したコンテンツ作成

(5) Wellnestyle NAGOYA(ウェルネススタイルなごや)の推進

世界的に関心が集まるウェルネスツーリズムに着目して令和 4 年度より開始した都市型ウェルネスツーリズム「Wellnestyle NAGOYA (ウェルネススタイルなごや) ※」について、3 年目となる令和 6 年度は、新たな観光コンテンツの創出等によるブランディングを推進し、観光需要と観光消費額の拡大を図ります。

ア 関連事業者との連携事業の推進

ウェルネスツーリズムに関心を持つ事業者の「フレンズ」への登録を推進するとともに、事業者間の連携等による新たな観光コンテンツの創出を促進し、ウェルネス商品・サービスの利用を目的とする観光誘客を強化します。

イ ブランドプロモーションの実施

ウェブサイトやメディアを活用した情報発信によるブランドの浸透を図るとともに、世界コスプレサミットや名古屋ウィメンズマラソン等の訴求力のあるイベントを活用する等、戦略的にブランディングを推進します。

※Wellnestyle NAGOYA とは・・・よりよく生きるという意味の「Wellness」と、考え方や行動の仕方を意味する「Style」を組み合わせた造語

(6) 将棋「王位戦」を活用した魅力向上・発信事業への参画

将棋「王位戦」の開催を契機とした観光客誘客につながる情報発信を行います。

(7) 東海北陸ブロック物産観光連絡協議会

東京の日本旅行記者クラブ、レジャー記者クラブ会員等に名古屋の物産・観光に関する情報提供を行います。

2 観光客の誘致

【国内観光】

【現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考)】

市内観光入込客数

(単位：万人)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	5,638	6,092	6,546	7,000
実績	2,211	2,330	3,719	未発表

(1) 歴史観光情報発信事業 信長攻路～桶狭間の戦い人生大逆転街道～事業

信長攻路（平成 28 年度設定）と、織田信長や桶狭間の戦いをコンテンツとして活用し、ホームページでの情報発信により、観光誘客を図ります。また、信長攻路沿いの地元団体や民間事業者との連携により、シビックプライドの向上と信長攻路の定着化に取り組みます。

(2) 名古屋の特色を活かした観光PRと誘客事業の実施

ア 旅行商品造成セールスの実施と観光PR

旅行会社へ商品造成と販売強化を働き掛けるため、主要な旅行会社へセールス活動を実施するとともに、旅行目的地としての「名古屋」の認知拡大のため、物産展や観光イベント等へ参加する等、BtoB 及び BtoC の両方向にアプローチし、観光誘客の強化を図ります。

イ 交通事業者と連携した誘客プロモーション

新幹線、航空路線等の交通事業者と連携し、名古屋への交通アクセスの利便性を活かした観光誘客に取り組みます。

ウ 他団体・事業者と連携したプロモーション

愛知県、名古屋市、民間企業、観光関係団体等の賛助会員と連携して、名古屋の魅力発信と観光誘客に取り組みます。

(3) 教育旅行の誘致の推進

ア 教育旅行誘致ツールの作成

令和 5 年度に作成した「体験プログラム集」について、「探究学習」に特化した要素を取り入れた誘致ツールを作成し、教育旅行誘致活動を推進します。

イ ウェブサイト「名古屋コンシェルジュ」での教育旅行に特化した情報発信の強化

旅行会社や学校関係者が名古屋への教育旅行を検討するために必要な情報を取得しやすいように、ウェブサイト「名古屋コンシェルジュ」の教育旅行ページに、体験プログラム集等の教育旅行向けコンテンツの充実と情報発信を強化します。

(4) 産業観光等の推進

産業の集積地である名古屋の「ものづくり文化」を産業観光として、ウェブサイトの活用や観光展への参加等による PR やセールス活動により観光誘客を推進します。また、旅行会社が実施する「産業観光バス」事業の企画や広報を支援します。

(5) 観光施設部会の運営

専門部会「観光施設部会」(37 団体) を運営し、共同セールス活動や情報発信等を実施し、誘客促進を図ります。

(6) 観光客誘致用パンフレット等の作成

いりゃーせ名古屋 (日本語版)	40,000 部
-----------------	----------

(7) 他団体事業への参画

名古屋観光ブランド協会事業、愛知・名古屋観光誘客協議会、やっとかめ文化祭実行委員会、熱田神宮周辺の来訪者のためのまちづくりにむけた勉強会、あつた観光まちづくり連盟等の、関連団体による観光事業等に参画し、地域資源を活かした観光誘客を図ります。

【 国際観光 】

【 現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考) 】

市内外国人延べ宿泊者数

(単位：万人)

区分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目標	239	274	316	370
実績	41	4	28	未発表

(1) 海外観光プロモーション事業

名古屋地域へのインバウンド誘致強化を目指し、関係業界及び周辺地域との連携により海外プロモーション活動等を実施し、名古屋地域への誘客を推進します。

ア 韓国観光プロモーション事業

韓国最大級の国際観光展「ソウルトラベルショー」に愛知県と連携して出展し、個人旅行が主流の韓国市場において BtoC 向けのプロモーション活動により誘客促進を図ります。

事項名	内容
出展事業	国際観光展「ソウルトラベルショー」 (開催予定) 10 月 4 日～6 日
情報発信	現地韓国人目線によるお薦めモデルコースの選定と情報発信 (ターゲット)ファミリー及び、20～30 代女性
セールス事業	個人旅行を取り扱う旅行会社へのセールス活動

イ 台湾観光プロモーション事業

台湾最大級の旅行博「ITF 台北国際旅行博」を始めとする観光展等に出展し、訪日旅行者層に対して名古屋の文化を始めとする観光 PR を実施し、BtoC 向けのプロモーション活動により誘客促進を図ります。

事 項 名	内 容
出 展 事 業	・ 国際観光展「ITF 台北国際旅行博」(台北市) (開催予定)11月1日～6日 ・ 「すずらん通り散歩納涼会」(台中市) ・ 台湾国際ランタンフェスティバル(台南市)
情 報 発 信	ドライブツーリズム等、リピーター層向けのコンテンツを情報発信 (ターゲット)ファミリー及び20～50代グループ
セールス事業	個人旅行を取扱う旅行会社へのセールス活動

ウ タイ観光プロモーション事業

賛助会員企業等と連携し、バンコクで開催される旅行博への出展や観光セミナー等に参加し、観光 PR 及び旅行会社へのセールス活動を実施により、名古屋ツアー造成の促進し、タイからの個人旅行及び団体旅行の需要回復を図ります。

事 項 名	内 容
出 展 事 業	国際観光展「TITF 国際旅行フェア」(バンコク市) (開催実績)令和6年1月
セールス事業	観光セミナーへの参加及びセールス活動 (ターゲット)小グループの旅行や社員旅行等 (連携先)中部国際空港利用促進協議会、犬山市観光協会、賛助会員

エ ベトナム観光プロモーション事業

東京～大阪間の「ゴールデンルート」が訪日旅行の主要ルートであるベトナム市場に対し、観光セミナーの開催等により、名古屋観光の PR 及び旅行会社へのセールス活動を実施し、名古屋ツアー造成の促進を図ります。

事 項 名	内 容
セールス事業	観光セミナーの開催及びセールス活動 (ターゲット)小グループの旅行や社員旅行等 (連携先)中部国際空港利用促進協議会、犬山市観光協会、賛助会員

オ 尾張藩連携事業

名古屋市が主導する広域連携による協議会事業に参加し、欧米豪をターゲットに観光誘客を推進します。

(2) 中部国際空港・航空会社等との連携によるプロモーション事業の実施

中部国際空港や航空会社等と連携して、各国のメディア、インフルエンサー、旅行社等のファムトリップや取材受入れを行い、名古屋地域の魅力を広く情報発信します。

また、中部国際空港と直行便が就航している、香港をはじめとする東アジア・東南アジアにおいて、観光PR等の名古屋市内への訪問促進に繋がる取り組みを実施します。

(3) 教育旅行の誘致・受入

海外教育旅行の約9割が日本を訪れている台湾市場については、JNTOが主催する現地説明会等への参加により学校・教育旅行関係者への働きかけを行います。訪名教育旅行の件数が多い韓国市場に対しては、訪名実績のある現地学校・旅行社との関係を強化し誘致活動を推進します。

また、教育旅行で重要となる学校同志の交流を促進するため、名古屋市教育委員会等との連携や交流現場との調整等の円滑な受入に向けた支援をします。

(4) インバウンド部会の運営

専門部会「インバウンド部会」(49団体)を運営し、共同セールス活動や情報発信等を実施し、誘客促進と外国人観光客の受入体制の強化を図ります。

3 観光客のおもてなし

(1) 観光ボランティア活動の推進

ア なごや観光ルートバスガイドボランティアの育成

名古屋を訪れる観光客へのおもてなしのために、「なごや観光ルートバス・メーグル」の車内にボランティアを配置し、観光名所や町並みなどの案内を行います。

また、名古屋観光案内ボランティアとの合同研修として、まち歩き研修を実施します。

登録者数	75名(令和6年2月現在)
活動場所	メーグル車内
活動日	土日休日7便予定
定例会	年4回開催(6月、9月、12月、3月予定)

イ 観光ボランティア団体との連携・支援

観光案内所と観光ボランティア団体が連携することにより、地域の隠れた観光魅力を発信します。

(ア) 情報交換会の開催

観光講座及び意見交換会を開催します。(令和7年2月開催予定)

(イ) ウェブサイト「名古屋コンシェルジュ」での紹介

名古屋城観光ガイドボランティアを始めボランティア団体(30団体)を紹介します。

(ウ) 各ボランティア団体活動のPR機会の提供

観光案内所にてボランティア団体の活動をPRする機会を提供します。

(エ) ボランティア募集の支援

名古屋市市民活動推進センターによるボランティア希望者と各団体とのマッチングを活用し、各団体のボランティア募集を支援します。

(2) なごや観光ルートバス「メーグル」の利用促進

なごや観光ルートバス「メーグル」の利用促進を図るリーフレットを作成し、市内観光施設や飲食店に配布するほか、当財団のウェブサイトにも掲載します。

(3) 電話通訳サービス等による受入環境の充実

7言語（英語・中国語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語）に24時間365日（ベトナム語のみ10時～18時）利用できる電話通訳サービス（令和5年度9施設利用）の利用を促進します。

(4) タクシー運転手への研修の実施

観光需要の高まりを踏まえ、タクシー運転手の方へ名古屋の観光に関する研修を実施し、当地域としてのおもてなしの向上を図ります。

4 フィルム・コミッション事業の推進

(1) ロケーションの支援

名古屋における映画・テレビドラマなどのロケーション撮影の窓口として、フィルム・コミッション「なごや・ロケーション・ナビ」を設置し、情報提供・各種支援、また作品の誘致を行います。

(2) 支援作品を活用したプロモーション

支援した映画・テレビドラマ・アニメなどの映像作品を活用し、公開や放送などの機会を活かしながらロケ地マップや特集記事の作成など、デジタル媒体を含めた最適なPRを行い、シビックプライドの醸成と作品をきっかけとした観光誘客を推進します。

また、過去の支援作品についてもあらゆる機会をとらえて積極的に情報発信します。

(3) 国内のフィルム・コミッション団体との連携

ア 特定非営利活動法人ジャパン・フィルム・コミッション(JFC)への加盟

フィルム・コミッションの全国組織に加盟し、通常総会・FC認定研修等へ参加

イ 東海地域フィルム・コミッション実務担当者会議の運営

愛知県・岐阜県、三重県のフィルム・コミッション間の情報交換や連携促進を目的に、実務担当者会議を開催（加入者数：29団体）

ウ 愛知県フィルム・コミッション協議会への参画

県内のフィルム・コミッションの協議会へ参加（運営主体：愛知県、加入者数：12団体）

Ⅲ イベント事業

1 イベントの開催

イベントの開催・支援により、名古屋市への観光客誘致を図るとともに、名古屋市のイメージアップ、産業の活性化と内外の人的交流等の促進を図ります。

事業名	説明	
世界 コスプレサミット 2024	内容	国際的に最も発信力があり、海外から高く評価されている日本の漫画やアニメの文化を国内外に発信する。
	開催時期	8月2日～8月4日
	会場	オアシス21・Hisaya-odori Park・愛知県芸術劇場等
	主催	世界コスプレサミット実行委員会
名古屋まつり 会場行事	内容	第70回名古屋まつりの開催に合わせて、久屋大通公園会場で、ステージやブース出展による盛り上げを図る。
	開催時期	10月19日～20日
	会場	久屋大通公園エディオン久屋広場・エンゼル広場等
	主催	名古屋まつり協進会
ロゲイニング in なごや 「ロゲなご」	内容	名古屋の隠れた観光魅力資源を発掘・活用し、地域への回遊性を効果的に高めるロゲイニング事業を実施する。
	開催時期	11月
	会場	名古屋市内
	主催	名古屋観光コンベンションビューロー

2 イベントへの支援

観光誘客や観光振興に資する、観光イベント等に対して後援名義を付与し、イベントの開催を支援します。

Ⅳ 観光案内所の管理・運営

【 現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考) 】

観光案内所外国人来訪者数

(単位：万人)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度
目標	12.5	13	13.5	14
実績	0.38	0.38	2.4	7.7(2月末)

1 観光案内所(金山、名古屋駅、オアシス21iセンター)の運営

名古屋への来訪者に対し、名古屋及び周辺地域の観光情報等を提供します。外国人来訪者に対しては多言語対応により、広域の観光情報を提供します。

また、地元の伝統工芸の体験イベントを行い名古屋の魅力を伝えるほか、観光関連事業者等と連携を図り、幅広い観光情報の収集及び提供により、おもてなしの向上を図ります。

2 ボランティアによるきめ細かな観光情報の提供

3 カ所の案内所に名古屋観光案内ボランティアを配置し、観光や交通情報など、観光客へよりきめ細かな観光案内を実施します。

また、まち歩き研修を、なごや観光ルートバスガイドボランティアと合同で実施します。

登録者数	22名(令和6年2月現在)
活動場所 及び活動日	名古屋駅観光案内所 …土曜日(午後)・日曜日・休日(午前) 金山観光案内所 …土曜日(午後)・日曜日・休日(午前) オアシス21iセンター…土曜日・休日(午後)・日(午前)

3 名古屋国際会議場及びポートメッセなごやを活用した観光推進

当財団がコンソーシアムによる指定管理者として運營業務に参画している名古屋国際会議場(平成26年4月から)とポートメッセなごや(令和4年4月から)において、施設利用者へ、名古屋と周辺地域の観光パンフレット等を提供し、学会・イベント・コンサート等の目的に加えて市内観光の促進を図ります。

4 なごやまちかど観光案内所の運営

市内及び周辺の観光案内・情報提供を行う「なごやまちかど観光案内所」を、民間事業者の協力により設置し、市内各所でのホスピタリティの向上を図ります。(設置数30カ所/令和6年3月現在)

区分	設置場所
案内施設	名古屋城総合案内所/桶狭間古戦場観光案内所/大高観光案内所
宿泊施設	名古屋クラウンホテル/喫茶、食堂、民宿。なごのや
公共施設	名古屋市科学館/名古屋市美術館/名古屋国際会議場/ポートメッセなごや/名古屋市中小企業振興会館
商業施設	名古屋栄三越/KOMEHYO サービスカウンター/カリモク家具名古屋ショールーム/はきものの野田仙/飯田洋服店/大矢蒲鉾商店/和装カジウラ/熱田神宮前商店街/若宮パーク/エスカツアーバスカウンター/オリックスレンタカー金山駅前店/オリックスレンタカー名古屋駅太閤通口店
飲食店等	伍味西栄本店/サッポロビール名古屋ビール園浩養園/WSC SPORTS LOUNGE/タリーズコーヒーイオンモールナゴヤドーム前店
大学等	名古屋大学博物館/名古屋学院大学Café & Bakery Mile Post
その他	宮の駅交流サロン/港まちポットラックビル

I 案内所観光宣伝物品販売事業

1 金山観光案内所、オアシス 21i センターでの販売

観光案内所を訪れる観光客及び市民の利便のため、名古屋グッズ、観光絵はがき、名古屋の伝統工芸品、一日乗車券等その他物品を販売します。

主 な 販 売 物
一日乗車券、ドニチエコきっぷ、メーグル 1 day チケット等の交通局乗車券、名古屋観光絵はがき、名古屋市美術館・博物館等の入場券、名古屋グッズ 等

II 会員サービス事業

【 現経営戦略計画における成果指標及び実績(参考) 】

賛助会員数

(単位：会員)

区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
目 標	600	600	600	600
実 績	594	571	547	577(2月末)

新規会員の増加を目指し、組織全体で積極的な勧誘と効果的な PR に取組みます。また、日頃から会員を取り巻く状況やニーズに関する情報収集を行うことで会員サービス事業の充実を図りながら、賛助会員の維持・拡大に努めます。

1 交流機会の創出

観光・MICE に関わる会員同士の連携を促進するため、「賛助会員のつどい」をはじめとする会員相互の交流の機会を提供します。

2 セールス・プロモーションの機会

当財団が実施する国内外でのセールス・プロモーションやイベント活動に参画いただく等、様々な形でビジネスチャンスを提供します。

3 情報提供サービスの実施

会員の事業活動に資するため、会員の自社商品やサービス及び当財団の事業等にかかる情報を提供します。また、財団ウェブサイトの会員専用ページに会員限定の情報を掲載し、閲覧に供します。

4 賛助会員情報の掲載

会員の情報を当財団ウェブサイトに掲載し、会員の活動を広く発信します。

Ⅲ 財団の運営

1 次期経営戦略計画の策定

当財団では、名古屋市が2009年に策定した「外郭団体のあり方」と団体の存在意義に基づき、中長期的な観点から戦略性をもった団体経営を実践するため、2011年3月より経営戦略計画及びアクションプランを策定し、具体的な戦略目標の設定とPDCAサイクルによる財団運営を進めてきました。

今般、第3期計画（2020～23年度）の終了に伴い、新たにワーキンググループによる検討を通じ、財団を取り巻く現状・課題、目指すべき方向性を明らかにし、観光・MICE誘致による経済波及効果の拡大を目指した第4期計画の策定を行います。

2 職員の人材育成

(1) 研修等の実施

職員の能力・スキル向上のため、各種研修及び資格試験等受験助成を行うことにより、人材の育成を図ります。

(主な内容) 接遇研修、階層別研修、人権研修、TOEIC 及び旅行業務取扱管理者資格試験助成ほか

(2) 人事評価制度の実施

職員一人ひとりの意欲・能力、職場のモラルを向上させることを目的として、人事評価を実施します。

3 理事会・評議員会の開催

定款に則り、理事会・評議員会を開催します。

4 公益法人としての社会的取り組み

「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」、「名古屋スポーツコミッション」への加盟・参画や、観光・MICE関連科目を履修する大学生等を対象としたインターンシップを通じて、公益法人としての社会的取り組みを進めます。